

財産収入 建物貸付収入が増となったものの財産売却収入が減となり、7・5%の減

繰入金 温泉関連施設の管理運営、高齢者のバス無料化対策、除排雪対策補助金、本庁舎外壁改修工事、藤里町集会所建設等助成交付金等に充てるための各基金からの繰入で26・6%の増

繰越金 前年同額の3,000万円を計上

諸収入 オータムジャンボ宝くじ交付金、市町村振興助成金等を計上。奨学会貸付償還金の増があったものの、学校給食費徴収金の減が主要因となり、0・8%の減

町債 新規分として過疎対策事業債で藤里中学校グラウンド改修事業、鳶岩1号橋・2号橋補修事業、長瀬橋補修事業を計上。緊急防災・減災事業債の防災行政無線施設整備事業、デジタル消防救急無線整備事業負担金が皆減となり、総体で23・7%の減

◇◇性質別歳出◇◇

人件費 議員及び職員の共済費の減により総体で1,340万円(2・2%)の減

物件費 まいたけ栽培技術者育成事業、白神山地世界遺産地域自然アドバイザー育成事業等が皆減となったものの、白神山水の館指定管理料、藤里町営スキー場斜面変状調査測量設計業務委託等の増により、総体で303万2千円(0・5%)の増

維持補修費 各施設等の老朽化は否めなく、その維持修繕等に当たっては計画的に手当していかなければならず、急を要する費目についてのみ計上。藤里町管理街路灯LED化事業、除雪関連経費の減が主要因となり、632万8千円(15・8%)の減

扶助費 障害者支援事業の障害者自立支援給付費や更生医療費、福祉医療費、児童手当、治療継続支援費を計上。更生医療(自立支援医療)費の増や治療継続支援費の増により、223万円(1・0%)の増

補助費等 青年就農給付金、イチヨウ樹勢回復工事補助金、多面的機能支払交付金の増、年金生活者等支援臨時福祉給付金の皆増等があったものの、能代山本広域市町村圏組合(消防)負担金の大幅な減、農業基盤整備促進事業補助金、開発公社経営交付金、耕作放棄地防止対策補助金等の皆減により、2,457万3千円(4・9%)の減

公債費 元利償還金は償還計画により計上、一時借入金については実績を勘案して計上しており、総体では3,716万7千円(11・4%)の減

積立金 町有林有効活用基金積立金は60万円、その他は基金から生ずる利子や株式配当金を積立することとし、総体では226万2千円(27・1%)の減

投資及び出資貸付金 中小企業融資資金預託金、藤里開発公社運営資金貸付金は前年同額、奨学会貸付金が減額となり、総体で88万8千円(1・6%)の減

繰出金 各特別会計への繰入金増減により2,978万3千円(8・0%)の増

普通建設事業費 補助事業2億3,308万9千円、単独事業3億4,310万3千円を計上し、総体で358万9千円(0・6%)の増

災害復旧費 災害に備え応急工事費等を計上。前年度実績等を勘案し、最低限度と見込まれる経費を見直しし、1万6千円(0・3%)の減

各特別会計

国保特別会計 一般国保税は平成27年度適用税率により8・4%の減で計上

後期高齢者医療特別会計 後期高齢者保険料、基盤安定負担金、広域電算システム事務費等を計上

水道特別会計 通常の維持管理費及び長期債元利償還金を計上。平成27年度から実施している藤里簡易水道基幹改良事業を引き続き計上

公共下水道事業特別会計 通常の維持管理費及び長期債元利償還金を計上

農業集落排水事業特別会計 通常の維持管理費及び長期債元利償還金を計上

介護サービス特別会計 (単位:万円)

歳入		10,374.3
内	サービス収入	9,426.0
訳	その他	948.3
歳出		10,374.3
内	サービス事業費	7,729.0
訳	総務費	1,924.5
訳	その他	720.8

介護保険特別会計 (単位:万円)

歳入		63,592.2
内	支払基金交付金	16,854.9
訳	国庫支出金	16,685.3
訳	繰入金	10,373.3
訳	その他	19,678.7
歳出		63,592.2
内	保険給付費	59,799.0
訳	総務費	2,590.3
訳	その他	1,202.9

合併浄化槽事業特別会計 (単位:万円)

歳入		1,486.3
内	繰入金	951.9
訳	使用料及び手数料	534.2
訳	その他	0.2
歳出		1,486.3
内	総務費	1,007.2
訳	公債費	385.0
訳	その他	94.1

農業集落排水事業特別会計 (単位:万円)

歳入		3,111.9
内	繰入金	2,135.4
訳	町債	730.0
訳	その他	246.5
歳出		3,111.9
内	公債費	2,465.9
訳	総務費	596.0
訳	その他	50.0